

水温は「平年並～やや高め」で推移
(令和2年6月の海況と今後の予測)

令和2年6月12日
茨城県水産試験場

1 海洋観測結果 (6/2~3, 6/4~5: 調査船「いばらき丸」)

- ・水温の平面図を図2~4 (水温, 前月差, 平年差) に, 鉛直水温図を図5に示しました。
- ・水温は0m深で19~24℃台, 50m深で13~22℃台, 100m深で13~21℃台, 200m深で9~18℃台でした (図2)。
- ・前月と比較すると, 表層は黒潮系暖水の影響によって全体的に昇温傾向でした。50~200m深の鹿島定線では低層水の上昇 (湧昇) が見られ (図5), やや降温しました (図3)。
- ・平年と比較すると, 全体的に水温が高く, 概ね「平年並み~高め」でした。また, 会瀬~大洗定線では「極めて高め」となった所もありました (図4)。
- ・141° E以西の沿岸域と142° E以东で出真潮傾向でした。会瀬~鹿島定線の141~142° Eにかけての一部で逆湧潮が確認されました。

2 本県周辺海面水温の現況 (図1)

- ・本県海域の水温は20~25℃となっており, 黒潮系暖水に広く覆われています。
- ・黒潮は犬吠埼の南東20マイルを北東に流れ, 北限は37.5° N付近まで達しています。
- ・親潮系冷水の勢力は弱く, 本県への影響は見られません。

3 今後1か月の見通し

- ・本県海域の暖水は今後も残存し, 水温は暖かい傾向が続くでしょう。
- ・黒潮の北限は北偏傾向を維持するでしょう。
- ・親潮系冷水が本県沖まで南下する可能性は低いでしょう。
- ・1か月後の水温は, 「平年並~やや高め」となるでしょう。

(参考) 7月の0m水温 (東経142度まで) の30年平均 (1981-2010)
 会瀬: 18~24℃台 大洗: 18~21℃台 鹿島: 18~22℃台 犬吠埼: 19~23℃台
 詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 大森 健策)

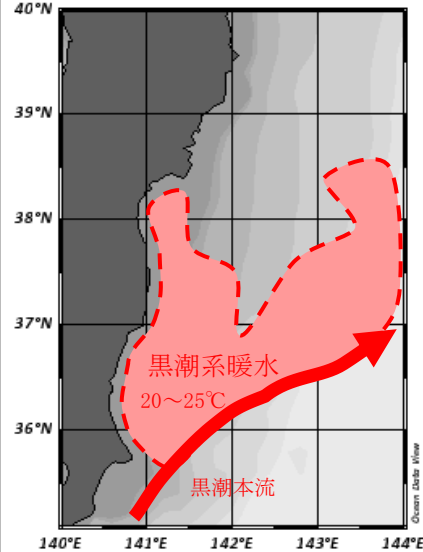
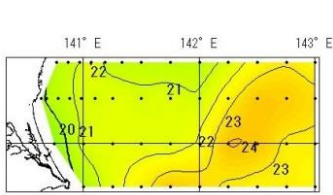
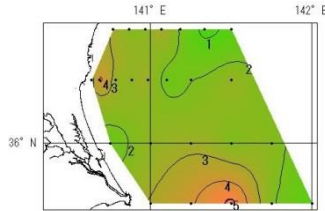


図1. 海面水温の現況
(6月12日)

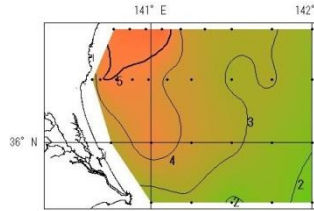
※水温は平年値と比較して,
 ±1.5℃が「平年並み」,
 ±1.6~3.9℃が「やや高め・やや低め」
 ±4.0~6.0℃が「高め・低め」
 ±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」



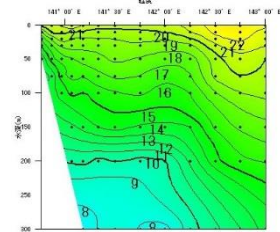
水深0m



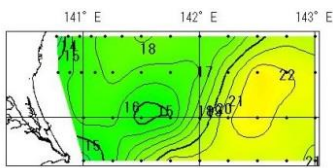
水深0m



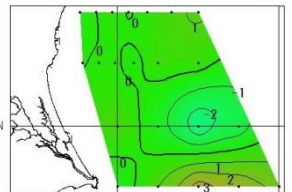
水深0m



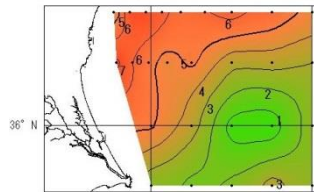
会瀬



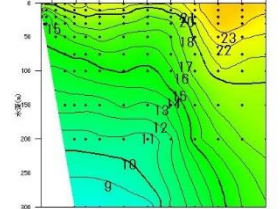
50m



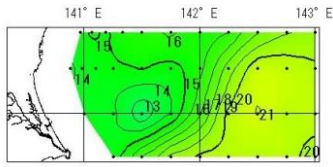
50m



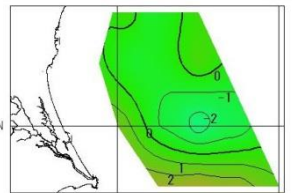
50m



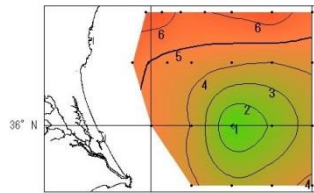
大洗



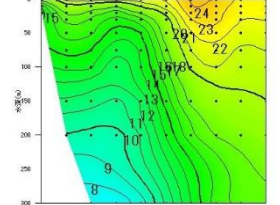
100m



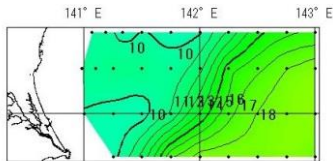
100m



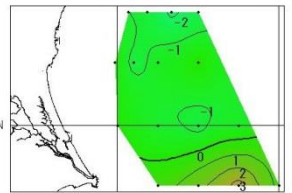
100m



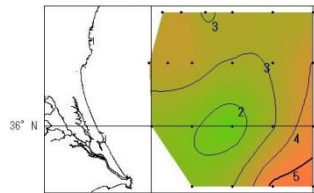
鹿島



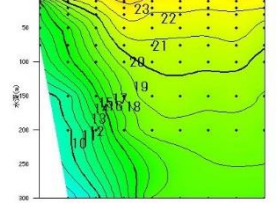
200m



200m



200m



犬吠埼

図2. 水温

図3. 水温前月差

図4. 水温平年差

図5. 鉛直水温